

平成 26 年 8 月 26 日

# 南 の 風 7 4

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

第 44 回全国中学校バスケットボール大会（香川県）に行ってきました。女子を中心に観戦しました。結果と感想を書きます。

《男子》 準決勝 浜松学院（静岡）45 — 53 実践学園（東京）  
布 水 （石川）53 — 45 烏屋野 （新潟）

決 勝 実践学園（東京）50 — 74 布 水 （石川）

布水は 22 年ぶりの優勝でした。おめでとうございます。

詳しいスコア・戦評は、全中の公式ページをご覧ください。神奈川県代表の横浜市立原中学校は惜しくも、予選リーグで敗退しました。

枚方第四（大阪）44 — 43 原 （神奈川）  
原（神奈川）50 — 56 玉島北 （岡山）

原中はたいへん惜しかったです。枚方第 4 戦の 2Q で 5 番のガードの選手が足を負傷してしまうアクシデントがありました。勝負事に「たら、れば」は禁句ですが、「5 番の選手が元気であれば」と考えてしまいました。最後まで全力で戦った原中の選手に大きなエールを送ります。お疲れ様でした。

《女子》 準決勝 藤 浪 （愛知）58 — 43 大阪薫英（大阪）  
山 口 （埼玉）46 — 67 折 尾 （福岡）

決 勝 藤 浪 （愛知）57 — 71 折 尾 （福岡）

折尾は 11 年ぶりの優勝でした。おめでとうございます。藤浪は、2 連覇を逃してしまいました。たいへん残念でした。

女子のゲーム、特に藤浪チームを中心に観戦しました。会場が異なったため、折尾や山口のゲームは観ることができませんでした。藤浪チームを率いる、鷲野鋭久コーチは U-15 女子トップエンデバーのコーチングスタッフです。

藤浪チームについての感想です。一言で言えばオフェンスもディフェンスも「基本に忠実」にプレーするチームです。オフェンスでは、6 番、10 番のインサイドを中心に（2 人とも 178cm）攻めます。しかし、2 人に頼ってパスを集めるのではなく、4 番のパスでディフェンスを崩し、6 番のフラッシュや 10 番のローポストへのループパスの合わせで攻めます。また、機を見て 4 番のカットインからのストップジャンプショットや、ドライブからの外のプレイヤーへのキックアウトパスも有効でした。それぞれのプレイヤーが、自分の役割をきちんとこなしていました。一方ディフェンスでは、ラインディレクションを徹底していました。ラインに誘導してピンチして、パスカットを狙うプレーが見事でした。そして、オールコートマンツーマンでは、パスのコースを限定させるプレッシャーディナイがしっかり機能していました。ミニバスにも参考になるプレーがたくさんありました。では次号で。